

☆福井しあわせ元気大会(障害者スポーツ大会)の 補助員ありがとう。御苦労様でした！

福井しあわせ国体・元気大会(障スポ)が先日無事に終了しました。元気大会(障スポ)3競技《陸上・バレー・バスケット》に補助員として参加してくれた2年生の声を(抜粋して)届けます。

《陸上競技に補助員として参加した生徒の声①》

- ・初めて障害者の方と関わる機会でしたが、緊張もしたけれど、心がほっとこりする体験がたくさんありました。身体はどこか不自由でも、諦めず、投げ出したりせず、一生懸命頑張る姿を見て、私は不自由じゃ、ないのに何をしたいか、と多々ありましたが、これからはできることを全力で頑張ろうと思うし、またこのように機会があったら参加したいと思ったり、不自由な人に優しく接したりしたいと思いました。
- ・表彰式に出る方の誘導をさせていただき、緊張している方も多かったですが、メダルを受け取ると笑顔でカメラに手を振ったり、家族にピースしたり、嬉しそうに誇らしげな表情を多く見せられたり、選手たちがされていて、その表情を見ただけで、私がここに来た意味があったなと思いました。
- ・今回の補助員の仕事で裏方の大変さを知ることができました。今度から大会があったら、今回のことを思い出して、大会運営の方々に感謝してレースに挑みたいです。
- ・選手の方々が障害を感じさせない程いきいきとしていて、スポーツは障害の有無にかかわらずみんなが楽しめるものなんだなと実感しました。スポーツのすばらしさに気づかされる充実した1日となりました。
- ・いろいろな競技の入賞者を見ましたが、見た目からはどんな障害を持っているか分からない人がたくさんいました。とても陽気な方もいて、私たちと何も変わらないんだなと思いました。不自由があっても頑張っている姿は、とてもカッコ良かったです。
- ・半世紀に一度(の地元での国体・障スポ)、しかも高校生の時にその補助員を経験し、貴重な時間を過ごすことができた。(私は練習会場係だったが)練習に来た各県の選手やコーチが口々に「ありがとう」と言葉をかけてくださり、励みになったし、心がとても温かくなった。今回の経験を一生忘れないようにしたい。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。